

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 102 号	氏名	叶 兆嘉
学位審査委員	主 査 小澤 寛樹 副 査 石井 伸子 副 査 篠原 一之		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、VDT 作業者の精神的健康度を調査し、作業時間や身体的症状との関連を検討したもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 精神的健康度を日本版 GHQ (General Health Questionnaire) -12 で評価し、年齢、性、一日 VDT 作業時間、作業休止及び小休止の有無、眼精疲労、及び筋骨格系疼痛との関連を、統計学的に解析したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、一日平均作業時間の短縮、作業休止・小休止を取る事、眼精疲労・筋骨格系症状などの身体健康の管理を行うことが、VDT 作業者における精神的健康度を高めるために重要であることを明らかにし、今後の VDT 作業関連研究への進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は産業保健研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			